

活動名：平成25年度高知県防災キャンプ推進事業（香美市教育委員会に再委託）

山の子防災キャンプin物部 ～わたしたちができること～

活動趣旨：中山間地域でおこると予想される災害に備え、生徒と地域住民の命を守るために「防災学習を実施する。

生徒の主体性を育み、教育目標（主体的に考え主体的に行動できる生徒の育成）の具現化をめざす。

（目標） 「地域の一員として、わたしたちができること」

～エンジン2013～（今年度生徒会スローガン）

（主催） 香美市立大柵中学校 香美市立大柵小学校 大柵中学校PTA

大柵小学校PTA 香美市教育委員会

（協力） 香美市役所 物部町自治会 香美市消防署香北分署 香美市消防団物部方面隊

物部町内自主防災組織 物部町民生児童委員 高知県防災砂防課

香美市社会福祉協議会 ホームセンターマルニ

実施日：平成25年10月3日（木）～10月4日（金）


実施場所：香美市立大柵中学校（香美市物部町1800-イ：TEL0887-58-2402）

参加範囲：香美市立大柵中学校生徒、教職員、およびその保護者、地域住民、

参加人数：大柵小学校5,6年生、運営体制関係機関団体とその関係者 約150人

【事前学習】

日時	プログラム	プログラム詳細
9月20日（金） 5・6 時間目	◎事前学習①	◎山の子防災キャンプin物部 「防災学習講演会」 講師：石巻市立門脇中学校 増子光昭教頭先生
<p>増子先生は実際に震災を体験した方なので、話を聞いたり、映像を見たりしても、その時の状況がとても分かりました。津波は水の塊という事も初めて知りました。震災が起きてから、たくさんの人の援助があったからこそちゃんと生きていられるような事を聞いた時、とても感動した。自分たちが普通に使っている水も災害時にはとても大切な物でそのことは普段から意識しておこうと思いました。</p> <p>ここに津波はこないけど、ダムの崩壊、土砂崩れの可能性があるのも意識する。 ～生徒感想～</p>		
9月24日（火）6時間目	◎事前学習②	◎活動のめあて設定

日時	プログラム	プログラム詳細
<p>10月3日(木) 12:30~13:10</p> <div data-bbox="300 304 908 672" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>東日本大震災での 中学生の活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> - 釜石の奇跡(釜石東中) : <ul style="list-style-type: none"> - 中学生が自主的に「津波が来るぞー」と叫びながら、保育士、児童・お年寄りをりやカーで運びつつ、避難 → 600名以上が助かった。 - 南三陸市戸倉中学校 : <ul style="list-style-type: none"> - 即席ロープで津波避難者の救助 - 低体温症の男性を抱きついて介抱 <div data-bbox="373 600 807 658" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>その他、救助や避難所ボランティア、復旧支援で たくさんの中学生在活躍</p> </div> </div> <div data-bbox="300 689 842 763" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;"> <p>想定は休日！地震発生</p> </div>	<p>◎防災キャンプ(避難所運営体験)の意味づけ</p>	<p>◎講話 「護られるだけじゃない！中学生」 講師：高知大学 大槻准教授 場所：大栃中学校パソコン室 対象：中学生と教職員</p>
<p>13:30</p> <p>14:00</p> <div data-bbox="268 1480 560 1675" style="border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">  </div> <div data-bbox="268 1697 560 1892" style="border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">  </div> <div data-bbox="268 1915 560 2112" style="border: 1px solid black;">  </div>	<p>◎大栃地区地域住民避難訓練</p> <p>◎避難所開設</p> <p>◎受付設置</p> <p>◎備蓄倉庫等、張り紙による場所の明示</p> <p>◎白テント6張 設置 ブルーシート・イス準備</p> <p>◎健康チェック</p> <p>◎住民へ防災の話 ライフライン停止(電気・水道)の設定</p>	<p>◎場所：大栃中学校グラウンド 自主防災組織・民生児童委員・自治会・大栃小学5・6年生</p> <p>○サイレンを合図に避難開始</p> <p>○大栃地区避難訓練 地域住民、保護者、大栃中学生 大栃小児童、関係機関団体(参加者 約150人)</p> <p>◎学校開放は行政が行う設定 ※学校長・行政による避難所設置</p> <p>◎受付設置 ○名簿を作成する</p> <p>○点呼、誘導は、自主防の代表者が行う</p> <p>◎地域在住の教員と生徒が行う</p> <p>◎地域住民のトレーニングと生徒と協働作業</p> <p>◎保健師さんと共に、参加者の健康状態を確認・介護する(飲料水の配布) ※教員は災害弱者の役割 ※大学生は、旅行者の役割(背中に明示)</p> <p>◎高知県防災砂防課の方の話聞く</p>

日時	プログラム	プログラム詳細
<p>10月3日（木）</p> <p>15:00</p> <p>(17:00)</p>  <p>17:00</p>  <p>20:00</p> <p>21:30</p>	<p>◎食事準備</p>  <p>◎食事</p> <p>◎避難所「本部」（グラウンド）にてふりかえり</p> <p>◎避難所宿泊体験</p> <p>◎宿泊体験準備</p>  <p>◎話しあい活動</p> <p>就寝準備</p> <p>*持参物：歯ブラシ・タオル・懐中電灯・水筒</p> <p>就寝</p>	<p>◎地域住民と生徒と協働作業</p> <p>※レトルトカレー （ご飯を薪で炊く）</p> <p>※薪の準備 羽釜でご飯を炊く（1台のみガス使用）</p> <p>◎人数の確認、全員に配布 ゴミの分別に留意</p> <p>*地域住民の参加はここまで</p> <p>◎検証（課題等）</p> <p>物部支所長 市消防分団物部方面隊隊長 防災キャンプ地域防災組織リーダー 大柝小中校長 大柝小中PTA役員 等</p> <p>◎場所：大柝中学校体育館 対象：大柝中学校生徒 大柝小学校5・6年 教員 保護者大学生（約70名）</p> <p>◎生活班の確認（3年中心）</p> <p>○暗闇寝袋体験 （体育館にテント設置）</p> <p>○男女しきり設置</p> <p>○ランタン設置</p> <p>※停電、断水の想定※手回しラジオ・電灯の携行</p> <p>○トイレの手洗いにポリタンク設置</p> <p>◎実際に準備をしたあとに、気づきを共有する</p> <p>○改善ができるところは改善する</p> <p>※避難訓練で感じたこと ※避難時の不安や心情の共有</p>

日時	プログラム	プログラム詳細
<p>10月4日（金）</p> <p>6:00</p> <p>8:30</p> <p>9:30</p> <p>11:30</p> <p>12:00</p> <p>10月8日（火）5・6時間目</p>	<p>起床</p> <p>◎朝食準備</p> <p>体育館テント片付け</p> <p>◎防災グッズ体験</p>   <p>◎話しあい活動</p>    <p>◎非常用ご飯試食</p> <p>◎解散</p> <p>防災キャンプ終了*</p> <p>◎事後学習</p>	<p>◎野外炊飯</p> <p>カップ味噌汁/レトルトのご飯 ふりかけ</p> <p>※薪でお湯を沸かす</p> <p>◎防災袋 簡易シャワー</p> <p>浄水器等操作体験</p> <p>○簡易シャワー</p> <p>○浄水器等操作体験</p> <p>◎わたしたちのできること</p> <p>○避難所生活で大切にしたいこと</p> <p>○「より良い避難所についての要望、困ること、</p> <p>○自分たちができること</p> <p>「1週間暮らすとしたら、家族と一緒にやったとしたら」など</p> <p>○「自分たちができることを班単位で発表、共有」</p> <p>*小学生の参加はここまで</p> <p>◎非常用ご飯、おかず試食</p> <p>片づけ</p>
		<p>◎ふりかえり「～わたしたちができること～」</p> <p>○アンケート 自分へのメッセージ</p> <p>○小学生へのメッセージ</p> <p>○ポスター作成 (防災啓発)</p> 